

国への要請について

令和6年7月4日協議会
公立沖縄北部医療センター整備協議会事務局
(沖縄県医療政策課)

6月要請の報告

令和6年3月28日（木）に開催した公立沖縄北部医療センター整備協議会での協議に基づき6月4日（火）に整備協議会一体となった要請を実施。

R6.6.5 沖縄タイムス朝刊 3面

北部基幹病院の整備費支援要請 県など6者厚労省へ

【東京】池田竹州副知事や北部広域市町村圏事務組合の渡真知武豊理事長（名護市長）らは4日、厚生労働省で浜地雅一副大臣と面会し、2028年度に名護市大北で開院予定の公立沖縄北部医療センター（北部基幹病院）整備に向けた財政支援を要請した。冒頭を除き非公開。県によると、浜地氏は財政支援の具体策などを含めて検討するよう「事務方に指示する」と前向きに感じたいと要請書は県や北部市町村会、北部地区医師会など6者が連名で提出した。センターは25年度着工予定で、整備費は約389億円。物価高に伴う建築資材高騰などにより、21年度の基本計画策定時（約279億円）から大幅に膨らんでいるという。

池田氏は「今後もかなり増えるだろう」と見通した。

望月明雄沖縄振興局長（左から4人目）に財政支援の要請書を手渡す池田竹州副知事（同5人目）ら4日、内閣府

浜地雅一副大臣（中央）に要請書を手渡す池田竹州副知事（右から3人目）ら4日、厚生労働省

上で「28年度開院のスケジュールに影響が出ないよう、国や北部市町村とも連携して取り組む」と述べた。県などは同日、内閣府にも財政支援を要請した。（東京報道部・新垣卓也）

沖縄タイムス社

R6.6.5 琉球新報朝刊 2面

整備協ら国へ 財政支援要請 北部医療センター

【東京】公立沖縄北部医療センター整備協議会（会長・池田竹州副知事）や北部市町村会などは4日、内閣府と厚生労働省を訪れ、2025年度に着工予定の北部医療センター整備にかかる財政支援を要請した。新病院の整備費は、物価高騰の影響を受けて基本計画時から増加し、約389億円と見込まれた。しかしさらに増加することが予想されるため、今回の要請に至った。

また医師確保の中核施設として新病院に設置する「琉球大学病院地域医療教育センター（仮称）」の教育・研究活動費などに対する財政措置も合わせて求めた。

内閣府は望月明雄沖縄振興局長、厚生労働省は浜地雅一副大臣が応じた。厚労省への要請後、取材に応じた池田副知事は「物価高騰の影響が大きく、（約389億円より）かなり増えるだろう。望月局長も浜地副大臣も、医療の充実は非常に重要だ」と認識で、しっかりと検討していくということだった」と述べた。（嘉数陽）

琉球新報社提供

※本資料を複製して使用する際には各新聞社への確認が必要な場合がありますのでご注意ください。

6月要請書記書き

【内閣府特命担当大臣あて】

- 1 北部医療圏唯一の基幹病院となる公立沖縄北部医療センターの整備等について、北部地域への安定的な医療提供体制を確保するため、所要の財政措置を講じること。
- 2 医師確保の中核施設として公立沖縄北部医療センターに設置する「琉球大学病院地域医療教育センター（仮称）」における臨床研修、教育・研究活動等に対する所要の財政措置を講じること。

【厚生労働省大臣あて】

- 1 沖縄県立北部病院と北部地区医師会病院を統合して整備する公立沖縄北部医療センターについて、北部地域への安定的な医療提供体制を確保するため、地域医療介護総合確保基金の増額等を含め、所要の財政措置を講じること。
- 2 2025年における病床の機能区分ごとの必要量を定めた地域医療構想に対する地域医療介護総合確保基金等の財政支援制度については、2028年度開院を目指している公立沖縄北部医療センターの整備に継続して活用できるように、制度の延長を行うこと。

6月要請における各府省コメントの報告

【内閣府 望月沖縄振興局長】

- 2つの病院が統合して整備されることの背景を理解しており、要請の旨は自見大臣にもしっかりお伝えする。
- 沖縄振興特別措置法でも北部地域の振興が位置づけられており、非常に重要なものと認識している。
- 琉球大学病院地域医療教育センターについて後押ししていきたいが、詳細な検討は今後お願いしていきたい。

【厚生労働省 濱地厚生労働副大臣】

- 武見大臣にも要請の旨をしっかりと伝える。
- 北部地域は広く散在していて医療の充実が非常に重要と認識。
- 要請については、物価高騰の影響等も踏まえ、事務方へ指示。
- 地域医療構想についても、支援が途切れることのないよう検討して参りたい。

※ 内閣府、厚生労働省に対する要請と併せて、島尻代議士及び屋良代議士に対しても要請書をお届けした。

要請スケジュールについて

R 6 年 3 月 28 日 整備協議会 要請書案の確認

6 月 4 日 第 1 回要請

8 月上旬 第 2 回要請

※県全体の国庫要請と併せて実施

～ 令和 7 年度政府予算概算要求

11～12月 第 3 回要請

～ 令和 7 年度政府予算案決定

R 7 年度 本体工事着工

整備協議会が
一体となって要請

内閣府等との
事務調整を継続

※ 要請日程は現時点のイメージであり、関係機関との調整の上、決定する見込み。

琉球大学病院地域医療教育センター（仮称）イメージ

【検討中の課題】

- ✓ 安定的な財源の確保
- ✓ 教員人材の確保、診療科の検討
- ✓ 琉大病院と北部医療センターとの労働条件等の整理
- ✓ 必要な教育医療器機等の整理 など

琉球大学病院

- 寄付講座のスキームを活用して、医師（教授等）を公募する等し公立沖縄北部医療センターに配置
- これにより、琉球大学病院における教育・研究機能を、公立沖縄北部医療センター内に設置（＝琉大地域医療教育センター）
- 教育側としては、より現場に即した、地域医療学習の場となることを想定

公立沖縄北部医療センター

整備・所有

北部医療組合
(県+北部12市町村)

指定管理

病院運営

北部医療財団
(県+北部12市町村+北部地区医師会)

琉球大学病院地域医療教育センター（仮称）

北部医療センター4階 北側（今帰仁・嵐山側）

【教育・研究活動】

- ✓ 総合診療科、救急を中心に内科（総合内科）や外科（急性期外来）等、地域で求められる専門診療の教育・研修プログラムのデザイン
- ✓ 専攻医、臨床研修医、医学生の指導
- ✓ 看護職員のキャリア支援
- ✓ その他センター管理運営 など

【診療活動】 ※兼業等

- ✓ 総合診療、救急を中心とした地域医療の提供を推進
- ✓ 地域で求められる専門医の派遣をコーディネートし、地域完結型の医療の提供を推進 など